

華

第64号

令和3年7月発行

大和理事長が退任 ～職員互助会に「感謝」のご寄付～ 新理事長に 山田業務執行理事



山田理事長



大和相談役

大和治文法人理事長が令和3年6月24日に任期満了に伴い退任されました。同理事長は、平成20年3月に常務理事として着任、同27年3月から理事長に就任され、この間、法人理念に基づく事業方針の定着と法人・事業所としての組織的取り組みの推進を基本として、ご利用ニーズに沿った事業の拡大・充実に尽力されました。13年余にわたるご労苦に心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

なお、退任後は、相談役としてご指導頂きます。

また、「感謝」のお気持ちとして職員互助会に百万円のご寄付を頂きました。

後任の理事長には、同日開催の理事会で、山田健一郎業務執行理事が選定され、併せて船本里治統括施設長が西河原・清水地区担当業務執行理事に、矢次淳一統括施設長が見付山・北春日丘地区入居事業等担当業務執行理事に選定され、保田千世子看護室長が理事に選任されました。任期はいずれも2年です。

また、外部理事として田村信夫、油谷 豊、輪木恵子各氏、監事に衣目成雄、澤田義友の各氏が再任されました。



油谷理事



田村理事



矢次業務執行理事



船本業務執行理事



澤田監事



衣目監事



保田理事



輪木理事

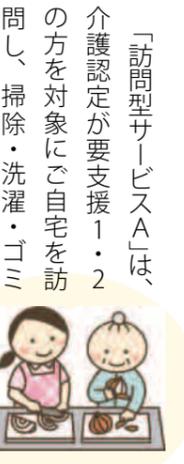
「訪問型サービスA」は、介護認定が要支援1・2の方を対象にご自宅を訪問し、掃除・洗濯・ゴミ出し・食の準備や買い物の代行などの生活支援をするサービスで、介護福祉士等が行う、更衣や入浴介助といった「身体介護」を除く「家事援助」サービスです。

従事者養成研修は、介護の仕事に興味があり、スキルアップ、地域社会との交流あるいはご自身の介護予防にもと考えておいでの方で、ちよつとしたお仕事を探しておられる方、定年退職して時間に余裕のある方々などへの資格取得を目指した研修です。

令和2年度は慶徳会が茨木市から研修業務を委託され、9月と2月に「ロースWAM」で座学と、法人内デイサービスセンターでの見学実習を行い、コロナ禍にもかかわらず、地域の方々が意欲的に参加され、併せて34名の方が資格を取得されました。



34名の方が受講修了（令和2年度） ～「訪問型サービスA」従事者養成研修～



WEB開催の就職フェアに参加
（大社協人材支援センター主催）

「大阪府社会福祉協議会人材支援センター」主催の合同求人説明会（令和2年度 福祉の就職総合フェアSPRING OSAKA）が令和3年3月13日（土）の午後14時～16時、WEB上で開催され、慶徳会も3月13日にオンラインライブセミナー形式（Zoomミーティング）で参加しました。

事前に同センターへ送った法人情報の提供とオリジナルPR動画を開催前2週間にわたり配信し、当日はリモートで職員による法人の運営方針や組織の概要説明、そして事業所の特性と魅力を職員それぞれの持ち味を生かしながらアピールしました。

この説明会で9名の方から慶徳会と情報交換等を希望するエントリーがあり、チャットを通じて質問も頂き、うち2名の方に、その後開催の事業所説明会や見学に訪れて頂きました。

コロナ禍での初めての試みでしたが、当面このような開催が多くなると思われるので、広報ツールの特性を最大限に生かす工夫がとて大切であると痛感しています。



法人PRチラシ

Zoomミーティングでプレゼンする
山田業務執行理事
西井陽彦主任（子供の家）

慰労金を贈呈しました！
～職員互助会～

コロナ禍により会員が集う行事を開催できなかったことを踏まえ、互助会では、令和3年3月に、会員の皆さんに慰労金として、JCBギフトカード5,000円分を贈呈しました。

日頃から業務に励んでいる会員の皆さんにカードの使い道を探ねてみたところ、一番多かったのは、食料品や日用品の購入でした。その次が本や雑誌類、そして家電製品でした。

また、小さい子どもさんのいるご家庭では、おもちゃをプレゼントといった微笑ましいエピソードも寄せられました。中には、そのまま奥さんに渡したという愛妻家もいたようです。

コロナ禍が続く中、今後も会員の皆さんに少しでも喜んで頂けるような企画を考えてまいりますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い致します。



令和3年4月の常観堂「花見花祭り」は、法人内の皆さんにご参加頂く形は自粛となりましたが、この機会に事業所ごとに「ミニツアー」を企画しました。

光華苑・春菊苑では、同月15日に2班に分かれて、計16名のご利用者が常観堂を訪れ、見事な八重桜に感嘆のため息がもれる中、その様子をカメラに収めました。

また、御仏前に安置された「花御堂」にお一人おひとりが手を合わせ、「誕生仏」に灌仏をされました。

感染対策万全の出達でのご参加でしたが、お堂の穏やかな雰囲気の中、季節のお花に囲まれて、ゆったりとした時間を過ごすことができ、皆さん、とても喜んで下さいました。

一方、静華苑でもお花見と花祭り用花々を味わいに、同月15・16日の2日間にわたって訪れました。当日は感染対策として、各施設とも少人数参加で、かつ、「3密」にならないように工夫しました。

常観堂 花見花祭りミニツアー ～光華・春菊苑、静華苑グループ～



八重桜より
キレイに写ってる？

御仏前で
「90周年花祭り」をお祝い

厳かに華やかに
仏様の御誕生をお祝い

「やわ」とぼつと笑顔になられたり、「今から準備するわ」とお部屋に戻られ、お気に入りの洋服に着替え、帽子をかぶって準備をされたりと、本当に楽しみにされている様子でした。

いよいよ当日、満開の八重桜を目のあたりにして「うわあ、とても綺麗で景色もいいわ」と大いに感動され、施設に帰ってからも「また、来年も連れて行ってね」といった声が聞かれるなど大好評でした。

2日目は、あいにくの曇り空でしたが、前日と同様に満開の八重桜を楽しまれ、また、常観堂のお仏壇に色とりどりにお供えされた沢山の花々を前にした写真撮影時には、「お花より綺麗に撮ってね」と茶目つぶりにアピールをされる方も見受けられました。

コロナ禍で気分も沈みがちな毎日ですが、ご利用者が大きな気分転換をされる貴重な機会となりました。

今後、感染対策を徹底するとともに、ご利用者の体調に留意しつつ、外出の機会を増やすなど、改めてお互いに喜びを感じ合える時間を大切にしたいと考えています。

子ども達なび

「花見花祭り」をお祝い

令和3年の「常観堂花見花祭り」もコロナ禍により、法人行事としては自粛し、子供の家の子ども達とスタッフに理事長及び各事業所の施設長が加わり、4月10日の藤井静野先生祥月命日法要に引き続きお祝いしました。

沢山の綺麗な花が供えられた堂内に可愛い歌声が響き、代表の子ども達がそれぞれ献香・献花・献燈・献茶を捧げたのに引き続き、全員が献花をさせて頂きました。

お参りの後は、天候に恵まれたこともあり、中庭で満開の桜を楽しみながら、皆で人気の「チラシ寿司弁当」に舌鼓を打ちました。



右：神秘的な面持ちで
灌仏する児童

上：満開の桜を
楽しみながらの
お弁当に大満足!!

行事の自粛等が続き、多くの楽しみの時間を奪われていた子ども達と職員にとつて、久しぶりに心ななむひとときを過ごすことが出来ました。

子ども達の笑顔を目の当たりにして、今後も感染予防に努め、行事の形に工夫しながらも法人の伝統行事を継続していくことの大切さを痛感しています。

「入進学卒業お祝い会」

今年も子供の家で開催



盛装して「お祝い会」に出席した子ども達

令和3年3月20日に前年同様法人内のご利用者・職員がお祝いに集って頂く行事は控え、子供の家の食堂で、理事長と各施設の施設長が代表して皆さんからの祝意を伝える形での開催となりました。

当日は新しい制服やスーツに身を包んだ子ども達に対して理事長から、入進学の年代に応じたそれぞれの心構えや目標に向かって新生活に励むよう激励の言葉が述べられ、また、ご利用者からのお祝いの代表メッセージを真華苑・森 大輔施設長が代読するとともに、同苑ご利用者手作りの素敵な手提げカバンをプレゼントしました。

子ども達からはお礼の言葉とともに、新生活への決意や目標を発表しました。

未だ新型コロナウイルス感染終息が見えませんが、子ども達が新学期から元気一杯に新生活を楽しんで過ごせるよう職員一同で願っています。

ステイホームでお花見やグルメ旅!

真華苑は苑内でお花見が出来る恵まれた環境にありますので、「コロナ禍で外出を自粛して頂いている中、いわゆる「ステイホーム」でのお花見会を皆さんで満喫して頂く」と令和3年は、全国的に開花が早まる中、4月1日に開催しました。

当日は、晴天に恵まれ穏やかな春の日差しを受けながら、苑内14本を数える満開の桜を愛でることが出来ました。

昼食は、厨房職員が腕によりをかけた特製の「花見弁当」に果物やケーキ等の「デザートバイキング」をメニューに加えて、園庭・屋内のそれぞれお好みの場所でお花見を楽しんで頂きました。コロナ禍の重苦しい雰囲気から解放され、敷地一杯に咲き誇る桜のもとで、心なな暖かい春を味わって頂けたひと時となりました。

絶好の花見日和を 園庭で楽しむ



もう一つの苑の名物は料理で巡る【日本一周グルメ旅】です。コロナ禍での閉塞感が長引く中、旅行に出掛けた気分を楽しんで頂けるように卓上飾りや音楽・映像にも工夫して毎月開催しています。

4月は29日に開き、「懐かしいな」「昔、旅行したことがある」「出身地だよ」などと話に花が咲き、取り寄せた郷土菓子には「お土産を貰ったみたい」と好評です。



「グルメ旅」で 真華苑特性の京料理

このたびで32回を数える「グルメ旅」これからの旅路もコロナの憂鬱を吹き飛ばすような、楽しい企画を考えていきたいと思